

一步一步、環境負荷を減らしています。

ショッピングセンターの維持管理を行う上で各SCの特性などを考え、環境保全活動に取り組んでいます。SC数の増加などの要因がありますが、今後も一つ一つの問題を模索しながら環境負荷削減に力を入れていきます。

■ エネルギー原単位の設定に向けて

CO₂の排出を削減していくために、イオンモールではエネルギーを大切に使います。各SCでは自然の光を活かした施設づくりを採用していますが、四季の自然光の変化により年間通してのエネルギー使用量は、日々変動しているのが現状です。

毎年、SC数の増加や、各SCの営業時間の延長、施設の増床、



やわらかい陽の光を浴びながらショッピング

保険の契約数増加等などが要因となり、2003年度も電気、水道、コピー使用量、コピー用紙の使用量の原単位を設定するには至らず、とても悩ましい問題となっています。

電気と水の使用量については、適用範囲が2003年度と同じ規模にならない場合は全社の目標値から外し、さらに目標数値の設定を2000年度対比から2002年度実績対比の設定に変更したことにより、目標に近づけることができました。

今後はそれぞれの活動における原単位を設定し、削減目標を立てて達成できるよう取り組んでいきます。



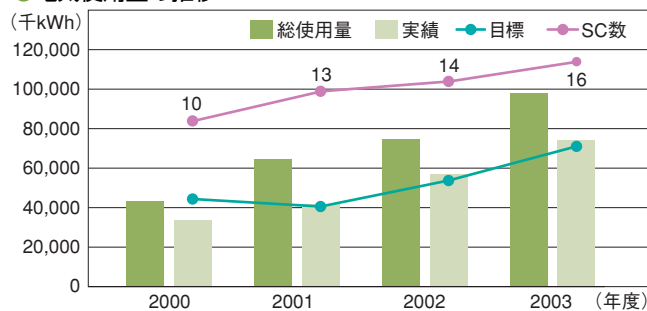
降り注ぐ光の加減により表情を変えるSCデザイン

■ 電気使用量の目標を達成しました。

2003年度は倉敷SC、岡崎SCでインバーター制御装置を実験的に導入し、倉敷SCは99.3%、岡崎SCは99.4%を達成し、全社では104.6%の観察となりました(目標設定については5ページを参照ください)。

今後は、電気回路を見直すなど従来のソフト面からハード面までを含めたエネルギー使用量の削減手法を開発し、エネルギー管理を徹底して行っていきます。それとともに、太陽光発電などクリーンエネルギーの導入も検討し、地球にやさしいイオンモールをめざしていきます。

● 電気使用量の推移



大気汚染物質の削減に向けて

発電機やボイラーなどからCO₂、NO_x(窒素酸化物)、SO_x(硫黄酸化物)が大気中に排出されています。これらの大気汚染物質は、地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨など環境にさまざまな影響を及ぼします。事業活動における排出量を把握することで、省エネルギーの取り組みや

エコカーの導入、各SCの近隣駅からの乗り入れバスの運行、また地域のパーク&ライドへの駐車場(東浦SC)の提供など、大気汚染物質の削減に取り組んでいます。



各SCのお客さまの足となっている乗り入れバス

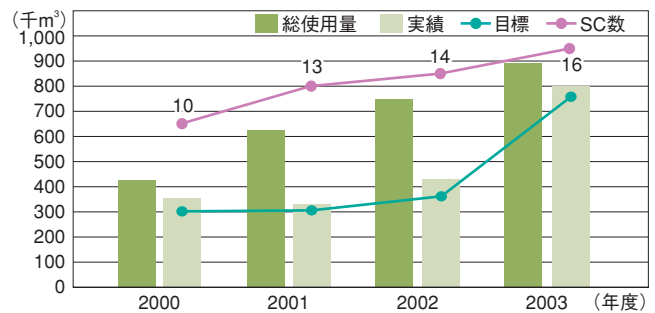
■ 貴重な水を節水する努力をしています。

当社では、水のほとんどがお客さま用トイレで使用されています。2003年度は来客数の増加により、目標を達成することができませんでした。今後は、水の有効利用として各SCに節水設備を導入するなどの取り組みを行っていきます。



節水実験トイレでの呼びかけを掲示しています

● 水道使用量の推移



■ 排水検査を強化し、水質に配慮しています。

2003年度は、ノルマルヘキサン(動植物油)の排水基準値の超過が多発しました。水との関わりを考え、水質を維持するために、当社では排水検査を毎月実施し、原因調査を行いました。油を多く使用するレストラン街やフードコートの特約店さまにご協力いただき、排水に含まれる油脂を除去するグリストラップの毎日・毎週の清掃、毎月の汚泥引き抜き、点検を行っています。

清掃教育の徹底を図るため、東浦SCではテナント・個店別に排水の水質検査を実施しました。今後は、こうした取り組みを広げ、教育を徹底しグリストラップの清掃基準を制定していくとともに、浄化槽検査の強化も行い、当社排水管理基準の完成に向けて取り組んでいきます。



飲食テナントさまへの教育風景

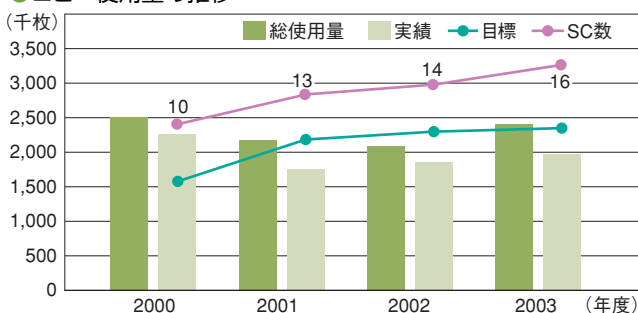
■ 無駄をなくすことでコピーの使用を減らしています。

まずは不要なコピーを減らすことから始めました。社内資料は裏紙を使い、会議ではプロジェクターを利用して各自が必要な部分のみをコピーするようにしています。

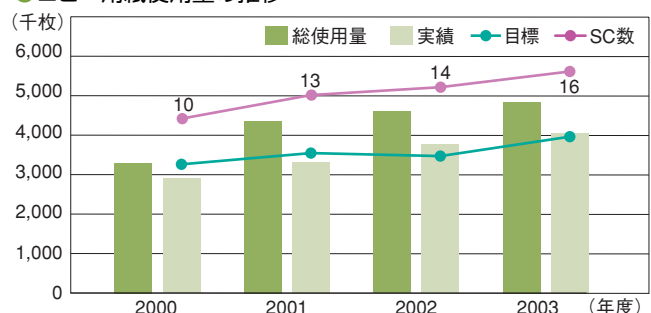
こうした努力が進んだ結果として、コピー使用量は大幅に目

標を達成しましたが、コピー用紙使用量は観察となり、今後は、コピー以外でのプリンター・ファックス等用紙の用途別の使用量を把握し、その削除手順を設定し対応します。

● コピー使用量の推移



● コピー用紙使用量の推移



■ 環境家計簿で家庭からの環境負荷も減らしています。

2003年度は従業員をはじめ、防災センター、清掃担当者も参加し、総勢120名が環境家計簿をつけました。電気、ガス、水道、灯油、ガソリンなどを毎月どのくらい使用しているか、ごみをどのくらい出しているかをチェック。自分の出すCO₂を把握することで、意識して減らすこと

を習慣づけ、環境にやさしいライフスタイルを実行しています。参加者には、参加賞としてリユースできるマグカップと洗剤のいらぬスポンジをプレゼントしました。

